

堺市老人介護者(家族)の会 34年間のあゆみ

。。。。足あとと思い出。。。。



令和5年2月

堺市老人介護者(家族)の会

堺市老人介護者（家族）の会 解散にあたって

感謝のごあいさつ

堺市老人介護者（家族）の会を、令和5年2月末をもって解散することになりました。

これまで、寝たきりや認知症高齢者等の介護経験者として、共に歩んできた会員の皆さん、また心強い支援を頂きました介護援助者の皆さん、そして地域の活動理解者として、ご支援頂きました校区民生委員児童委員会、校区福祉委員会、校区自治連合会、堺市老人クラブ連合会等賛助協力の皆さん、本当にありがとうございました。それから、設立当初からご協力頂きました関係行政職員の皆さん、「特別養護老人ホーム等在宅福祉担当職員の皆さん、また介護保険制度の実施とともに、ご支援頂きました地域包括支援センター、居宅介護支援事業所ケアマネジャー、介護保険サービス担当職員の皆さん」に、心からお礼申し上げます。

家族の会は、昭和62年頃から堺市社会福祉協議会の調査や家族の集いを経て、当時の保健福祉行政や関係施設団体の皆さんと、心ある初代世話役の皆さん方の総意によって平成元年3月、堺市総合福祉会館ホールにて設立宣言を行い設立致しました。

「介護者家族の立場では、実際の活動参加は難しいのでは？」とか、「堺のような大きな町できめ細かな相談は難しいのでは？」との不安を払拭し、宣言では「これから介護を経験する市民の方にとって、介護がつらく苦しいものでなく、喜びと幸せを感じ生活していける介護福祉の社会を築きたい」と未来に向けた思いが込められました。

現在は制度も大きく変化し、介護保険サービスと地域包括ケアシステムを中心に、介護福祉サービスは質量ともに目覚ましく発展してきています。

この度、私たち家族の会は「会員・援助者の減少と高齢化」のなかで、「目的とする事業活動を遂行することが難しい」と考え解散することに致しました。あとの支援は、新しい地域共生社会づくりと、安定した介護保険サービスおよび関連施策にお願いしたいと思います。本当に34年間という長きにわたり、ご支援ご協力いただき、ありがとうございました。

令和5年2月

堺市老人介護者（家族）の会
会長 堺 貞夫
役員 一同

1. 堺市老人介護者（家族）の会 34年間のあゆみ

(1) 昭和62年～ (1988)

- ねたきり老人介護者（家族）の会づくりアンケート調査報告書発行
対象者：1,258世帯悉皆調査（校区民生委員児童委員の協力による）
- 老人介護者（家族）の会準備委員会設置
- 東西南北4ブロック 家族の集い実施、記録集「家族の声」発表

(2) 平成元年～ (1989)

- 堺市老人介護者（家族）の会設立宣言・発足（3月30日）
- 平成元年度末： 正会員数 304人、賛助会員数 125件 1,516人
- 発足年度の事業活動：
 - 1) 介護者だよりの創刊 5月創刊号 以下隔月で第6号まで発行
 - 2) ブロック別会員交流会 7月東西南北4か所 参加のべ175人
 - 3) 会員介護相談の実施
 - ①4ブロック相談 50件
 - ②一日相談（お便りカード） 49件
 - ③事務局コーディネイト 239件
 - 4) 介護用品購入斡旋・貸出（9月）
 - ①紙オムツ等安価斡旋：堺薬業事業協同組合提携協力 164店
 - ②介護用品業者提携： キコーメディカル（株）、（株）倉崎綿帯
 - ③介護用品貸出事業： 介護型車椅子、リクライニング式車椅子
移動用担架、簡易浴槽、洗髪器、
シャワー椅子、バスマン
 - 5) 在宅介護援助活動と介護援助者の準備
 - ①相談・介護用品サービスの開始に伴う具体的援助活動の必要性
 - ②在宅介護援助サービスを考える集い 参加のべ38人
 - 6) 堺市老人ケアネットワークの発足と参加（準備委員会を同機能に再組織化）
 - 7) その他運営事業（3月30日発足時）
 - ①（社福）堺市社会福祉協議会と事務委託契約
 - ②定例役員会活動： 役員及び保健福祉行政参加（毎月）
 - ③正会員、賛助会員の入会促進

(3) 平成2年～ (1990)

- 在宅介護援助サービス「介護援助者登録」開始 4ブロック41人
- 介護援助者の集い（勉強会）、援助者ノート、連絡帳の作成活用
- 介護用品「おゆずり品リレー事業」開始（療養ベッド、紙オムツ等）

**(4) 平成5年～
(1993)**

- 活動報告と意見交流会の実施（4月総会時）
 - ・会役員、介護者、援助者、ケアネットワーク委員の意見交流会
- 在宅介護援助サービス「介護援助者」登録数 4ブロック79人
- 堺市社協「ふれあい福祉センター計画」（第1次計画）との連携
- ふれあい福祉センター計画推進協議会設置と参加（平成6年、上記の再組織）
- パネルディスカッション開催（平成6年4月）
 - ・「地域の中での家族の会活動について」
 - ・会役員、介護援助者、高齢化対策推進課、堺市医師会の意見交換会
- 堺中東西南北 堺市6支所構想と6ブロック化（平成7年4月）
- 「介護用ベッドリサイクル事業」に移管（平成9年～平成12年）
（おゆずり品リレー事業の内、介護用ベッドのみ堺市社協に）

**(5) 平成10年～
(1998)**

- 設立10周年記念行事（4月16日）
 - ・記念講演「介護保険導入に向けて家族の会ができること」
講師 桃山学院大学教授 上野谷加代子氏
 - ・落 語 笑福亭 松枝さん
- 平成10年5月「家族の会 10年の歩み」発行
- 平成11年8月「介護保険対策小委員会」（開催3回）
- 平成12年6月「会員概況アンケート」及び「調査報告書作成」
- 平成12年 3活動部会導入
 - ・「企画部会」、「介護保険対策部会」、「情報誌作成部会」
- 平成12年 「第3回介護保険シンポジウム」にシンポジスト参加
「堺市介護サービスの質の確保に関する調査研究会」参加
- 平成13年 「介護サービス苦情相談事業」開始
「介護保険下での介護者（家族）の会あり方勉強会」開催
- 平成15年 「援助者による介護サービス事業所見学会」実施
「わたしたちの利用満足度情報事業」利用者へ調査実施
- 平成15年 「介護手記集 設立15周年記念」（平成元年～15年）

**(6) 平成16年～
(2004)**

- 平成18年 堺市・美原町の合併に伴い、美原町同会を吸収、美原ブロック立上げ（4月）
介護保険制度改正、地域包括支援センター研修会（11月）
- 平成20年 「介護手記集 II 設立20周年記念」（平成16年～20年）
「仲間と共に20年のあゆみ20周年記念誌」（5月）

**(7) 平成21年～
(2009)**

- 平成22年 「ブロック活動での関係機関との連携強化」の取り組み

(8) 令和元年～
(2019)

- (地域包括支援センターや健康増進課職員の招聘)
「交流・研修会をリフレッシュの場に」(音楽会やバス旅行)
○平成 29 年 「会設立 30 周年に向けた記念事業」企画
○平成 30 年 「会設立 30 周年記念 綾戸智恵さん特別講演会」開催
-
- 令和 2 年 新型コロナウイルス感染症拡大防止、介護者だより毎月発行
○令和 3 年 新型コロナウイルス感染症拡大防止と交流会等の中止
在宅介護援助活動・交流会の中止と電話訪問活動へ方向転換
○令和 4 年 「全市家族の会の見直しとブロック活動の活動継続」検討作業

2. 足あとと思い出、わたし達が見てきたもの

介護者（家族）の会設立前夜の出来事（昭和 62 年～平成元年頃）

- ① ねたきり老人介護者（家族）の会づくりアンケート調査
- ② 老人介護者（家族）の会準備委員会
- ③ 東西南北 4 ブロック 家族のつどい

● 介護者（家族）の集い開催・・・

アンケート調査の結果を経て、会づくり準備委員会が設置されます。集いは、この委員会が中心となり昭和 63 年 9 月、民生委員児童委員の協力のほか、福祉事務所、保健所、特別養護老人ホームの職員の協力によって、東西南北 4 ブロックで開催されました。介護者（家族）と協力者のべ 270 人の参加を得ることになりました。またこの時、家族の会世話人 10 人が選任され、集い記録集「家族の声」が 11 月発行されています。この後、世話人懇談会が開かれ、ここでの意見を実務者会議、準備委員会が検討し、「会則案」や「設立宣言案」が準備されていきます。

介護者（家族）の会設立総会（平成元年）

- ① 介護者（家族）の会設立総会
- ② 設立宣言文の特徴
- ③ 発足年度の事業活動

● 設立宣言文の特徴・・・

初代役員（世話人）も含めた準備委員会実務者会議で、設立宣言案が検討されました。このなかで、専門実務者委員から出された設立の目的は、次のような特徴がありました。

設立総会では、「福祉・保健・医療の関係機関団体と連携しながら、少しずつお年寄りの快適な暮らしと、介護者が安心して介護できる条件をつくり上げていかなければなりません」、「私たちだけで解決できない点について、地域住民、ボランティア、そして福祉・保健・医療の専門機関団体の協力を得て活動をすすめ、お年寄りとお年寄りを介護する介護者（家族）の健康と福祉の向上、幸せな毎日の実現を図りたいと考えます。それが、いま介護課題を抱えている私たちだけでなく、これから年老いていく、またお年寄りをお世話していく人達全員の願いであると考えます」と宣言しています。

● 発足年度の事業活動・・・

発足年度の事業活動は次のとおりです。この時、先進の枚方市や茨木市等の例に学び、「会員が入会しようと思うメリットとは何か？」を打合せました。オムツの共同購入や協力店の確保等でした。結果、薬剤師会の配慮を得て、薬局薬業店の安価斡旋事業提携などを生み出しています。
・介護者だよりの創刊、・ブロック別会員交流会、・会員介護相談、・介護用品購入斡旋貸出（紙オムツ等安価斡旋、介護用品業者提携、介護用品貸出『介護型車いす、リクライニング車椅子、移動用担架、簡易浴槽、洗髪器、シャワー椅子、バスマン』）等。

助けあい ● ● ● TEL. 32-5420 内線 213, 214 印刷所：西宝堂印刷所

第1回会員交流会
東・西・南・北で開催中

「お近くに
相談できる主治医を」
＝ 7.16 南ブロック ＝
田村先生など助言



↑ 7月16日(日) 梅文化会館の交流会

堺市老人介護者(家族)の会では、会員が

地元開業医さんの参加を得た交流会

お申込み頂ける「業者提携システム」の2本 員の多くは対象外
立。店頭販売はもちろんのこと、電話一本の 族の会として早急
り安く」お届けし
した。
良品質のものを
年寄りにとっても
こと。会であつた
ら提出された商品
にわたりテスト、



堺市老人介護者(家族)の会
協力店

協力店ステッカー、店頭に表示

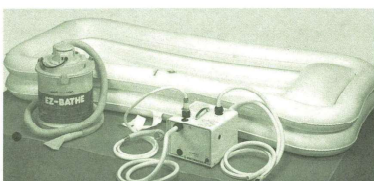
薬局薬業組合協力店ステッカー（164店）

☆☆ 第4号 ☆☆
平成元年11月25日
発行：堺市老人介護者(家族)の会
堺市南瓦町2-1 (〒590)
堺市総合福祉会館
(社福) 堺市社会福祉協議会内
TEL. 32-5420 内線 213, 214
印刷所：西宝堂印刷所

介護者だよりの
● ● ● 励ましあい
助けあい ● ● ●

＝ 家庭での入浴や外出介助のために ＝
介護用品貸出 12月から始めます！

堺市老人介護者(家族)の会では、12月1日から、家庭内での入浴や通院・外出の一助になればと、最新式の入浴介助補助具や車いすの貸出事業をはじめ



初年度から人気だった貸出用品（簡易浴槽）

介護援助者とおゆずり品リレー（平成2年～平成4年頃）

- ① 在宅介護の実態と介護援助者の準備
- ② 在宅介護支援連携と「連絡帳」等の作成活用
- ③ 会員の声から生まれたおゆずり品リレー

● 介護用品の貸出で知った在宅介護援助サービス（介護援助者）の必要・・・

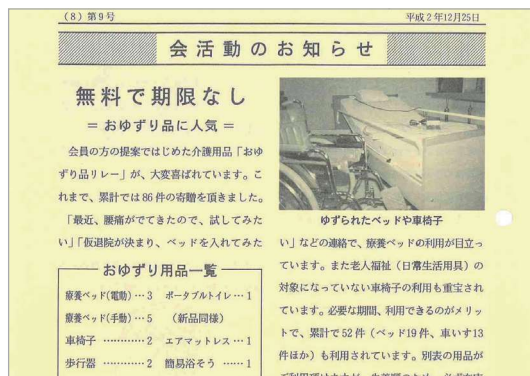
会結成とともに準備した介護用品サービス。当時はお風呂がない公営住宅や、寝たきりで身体が硬くなったお年寄りはお風呂に入れず、保健師さんに清拭してもらうのがやっとのことでした。そのため、簡易浴槽や洗髪器の貸出利用が多かったようです。ただ、自宅に介護者一人しかいないご家庭では、物があっても利用できない。こんな声が沢山聞かれました。これらの状況から、在宅支援ボランティアの必要性が提案されます。その後「勉強会」を経て、「介護援助者の募集・登録」が始まりました。これが現在の活動を支えている「介護援助者」の皆さんの始まりです。

● 介護者家庭の枕元でつながるネットワーク＝「援助者ノート」の活用・・・

「介護援助者」がお手伝いにはいると、見えてきたのが保健師さんやヘルパーさんからの「引き継ぎ」＝「伝言メモ」の大切さです。対象者の枕元には大学ノートが置かれてありました。「今日のお年寄りの様子」、「次の支援者や家族への連絡事項」などが書かれてありました。このことが家族の会で提案され、「援助者ノート」、「連絡帳」を作成、活用されることになります。また介護者（家族）の声から、不要になった紙おむつや療養ベッド等の再活用＝「おゆずり品リレー事業」が始まります。



具体的な支援活動へ向け、援助者学習会



提供された療養ベッドや車椅子



在宅訪問活動が生み出したネットワークアイテム「連絡帳」。保健師さんやヘルパーさんから提案され、作成活用されました。

福祉の基礎構造改革、介護保険制度への変革に伴って（平成10年～）

- ① 設立10周年記念行事、10年の歩み冊子発行
- ② 会員概況アンケート、介護保険対策部会の設置
- ③ 介護サービス苦情相談、利用満足度情報事業

● 介護サービス苦情相談、利用満足度情報事業（平成14年度総会「13年度事業報告」抜粋）

平成10年、10周年の冊子を発行する一方、平成12年介護保険制度の施行を前に、対策部会などの準備が始まります。

平成13年9月から「介護サービス苦情相談」が始まりました。報告件数は4件。具体的なサービスに対して苦情のほか、「サービスの質の向上」や「利用しやすい制度手続き」に関する意見などが件数項目以外に沢山寄せられました。（平成16年度総会「15年度事業報告」抜粋）

介護保険対策部会で「私たちの利用満足度情報事業」が立ち上がりました。「介護者だより報告」から⇒「ケアマネジャー：79%満足、一方2か月間顔を見たこともない」、「デイサービス：施設での様子がわからない、連絡帳があればいいのに」、「ショートステイ：連絡帳がなく、不満の声が

多い」、「訪問介護：利用者との連絡が大切、担当者が長い期間の場合は満足度が高い。担当がよく変わる場合はとても不安、不満」、「訪問入浴：タオルを体にかける等の配慮がある場合、満足度が高い。爪切りもして欲しいとの意見」等の声がたくさん、寄せられました。



「満足度の声」は、介護者便りに複数回にわたり掲載され、利用者家族の皆さんの共感を呼びました。情報の共有はとても心強かったようです。

利用満足度情報報告。介護者だより第44号 (H16.5)

美原ブロックの立ち上げ、地域包括支援センターの設置（平成16年～）

- ① 美原ブロックの立ち上げ
- ② 介護保険制度改正、地域包括支援センターの設置
- ③ ブロック単位での関係機関との連携強化
- ④ 設立20周年記念事業

● 介護保険制度改正、地域包括支援センターの設置（平成19年度総会「18年度事業報告」抜粋）

平成18年4月、介護保険制度が改正され、関心の高かった「各区地域包括支援センターの設置について」、福祉サービス公社事務局長と堺市高齢福祉課長を招き、講義と質疑応答で改正内容の理解を深めました。「介護保険制度の見直しでどうかかわる？ 地域包括支援センター（高齢者総合相談センター）が各区役所に。社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師などの専門職スタッフがチームを組み、在宅介護支援センターとも連携をとって、介護予防推進拠点となり高齢者を支えてくれるようだ」（介護者だより第69号抜粋）。 また「介護保険制度の見直しでどうかかわる？

要支援1・2と認定された方は、介護予防サービスを利用することになる。予防サービス計画は地域包括支援センターが行うとのこと」（介護者だより第70号抜粋）等、疑問・回答を掲載しています。

● 設立20周年記念事業「20周年記念誌 20年のあゆみ」、「介護手記集」

平成20年5月29日、発足20年の節目にあたり「20周年記念式典」が開催されました。同年度末の状況： 正会員258人 賛助会員735人 介護援助者87人。この時、平成20年5月29日、「仲間と共に 20年のあゆみ」、「設立20周年記念介護手記集Ⅱ 平16年～平20年」を発行しています。

（仲間と共に 20年のあゆみから抜粋） 20周年記念誌の巻頭には、大國美智子先生（大阪後見支援センター所長）、上野谷加代子先生（同志社大学教授）から、10周年同様のメッセージを頂いています。

○「介護手記を読んでいますと、見送った後の満足感、充実感は家族の会によって支えられた結果です」、「医療制度や介護制度と並んで、なくてはならないのが家族の会の支援です」（大國先生）とメッセージを頂いています。また「介護保険が始まったわけですが、これからの10年、制度は必要に応じ改善しなければなりません。介護者としての意見や知恵を、社会に情報として提供することが今求められています」、「喜び・楽しみ・悲しみ・怒りなどが自由に表現でき、権利としてサービスを活用できるよう支援していくことが益々重要になってくるでしょう」（上野谷先生）と応援して頂いています。

3.「時代ごとの社会背景・制度サービス」と事業活動34年間

社会的な出来事と制度サービス	家族の会事業活動の動き
昭 58 (1983) 老人保健法施行 保健師 訪問指導の開始 昭 61 (1986) 同法改正 (老人保健施設規定) 昭 62 (1987) 昭 63 (1988)	①ねたきり老人介護者(家族)の会づくりアンケート調査実施 ② 同 調査報告書発表 ③老人介護者(家族)の会準備委員会設置
平 元 (1989) 国) 高齢者保健福祉推進10カ年戦略 (ゴールドプラン策定) 堺社協) 堺市老人ケアネットワーク推進委員会 堺社協) 校区在宅ボランティア養成事業要綱制定	④堺市老人介護者(家族)の会結成 ・紙オムツ安価斡旋、介護用品貸出・購入業者提携 在宅介護援助サービスを考える集い(介護援助者準備)
平 2 (1990) 国) 老人福祉法等(福祉関係8法)一部改正 (施設と在宅福祉の市町村での一体的提供) 平 3 (1991) 国) ふれあいのまちづくり事業発表	⑤在宅介護援助サービス「介護援助者登録」開始 ⑥介護用品おゆずり品りレー開始(オムツ、療養ベッド等)
平 5 (1993) 堺社協) ふれあい福祉センター計画発表 (第1次地域福祉総合推進計画) 平 6 (1994) 国) 新高齢者保健福祉10カ年戦略 (新ゴールドプラン策定) 堺社協) ふれあい福祉センター推進協議会	⑦堺市6支所にあわせ、堺中東西南北6ブロック化
平 10 (1998) 国) 社会福祉基礎構造改革について (6月 中間まとめ) 社会福祉基礎構造改革を進めるに当たって (12月 追加意見) 平 11 (1999)	⑧10周年記念講演 「介護保険導入に向けて家族の会ができること」 (桃山学院大学教授 上野谷加代子氏) ⑨介護保険対策小委員会(8月～3回)
平 12 (2000) 国) 社会福祉の増進のための社会福祉事業法 等の一部を改正する等の法律公布施行 国) 介護保険法施行 堺社協) 介護サービスの質の確保に関する 調査研究会 平 13 (2001) 平 15 (2003)	⑩介護サービスの質の確保に関する調査研究会参加 ⑪介護保険対策部会設置 ⑫介護サービス苦情相談事業開始 ⑬援助者による介護サービス事業所見学会実施 ⑭わたしたちの利用満足度情報事業 利用者調査実施
平 17 (2005) 国) 介護保険制度の改正と地域包括支援センター (地域支援:介護予防、包括的支援、任意事業) 堺) 美原町と合併 平 18 (2006) 堺社協) 美原町社協と合併 平 21 (2009) 堺社協) 地域福祉ねっとワーカー配置 平 24 (2012) 堺社協) 基幹型包括支援センター開設	⑮介護保険制度改正、地域包括支援センター研修会 ⑯美原町家族の会吸収、美原ブロック立ち上げ ⑰設立20周年記念誌 介護手記集発行 ⑱ブロック活動での関係機関との連携強化

社会的な出来事と制度サービス	家族の会事業活動の動き
平 25 (2013) 堺市協 堺市権利擁護サポートセンター開設 平 27 (2015) 国 介護予防・日常生活支援総合事業開始 堺市協 生活支援コーディネーター配置事業開始 平 29 (2017) 国 地域包括ケアシステム強化法公布 平 30 (2018) 令 2 (2020) 国 新型コロナウイルス感染症拡大防止 国 地域共生社会実現のための社会福祉法一部を改正する法律公布 令 4 (2022)	⑱設立30周年記念 綾戸智恵さん特別講演会 ⑳家族の会、全市会議交流会、ブロック交流会・訪問活動停止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止策) ㉑美原ブロック 会員・援助者全員退会 同活動停止 ㉒全市家族の会活動、ブロック活動見直し検討開始

4. 34年間のあゆみ 節目にみる正会員数の状況等

○基礎構造改革、介護保険の実施を経験した家族の会は、国及び堺市行政、専門機関の制度サービスの変化に伴い、会員数は増減しました。

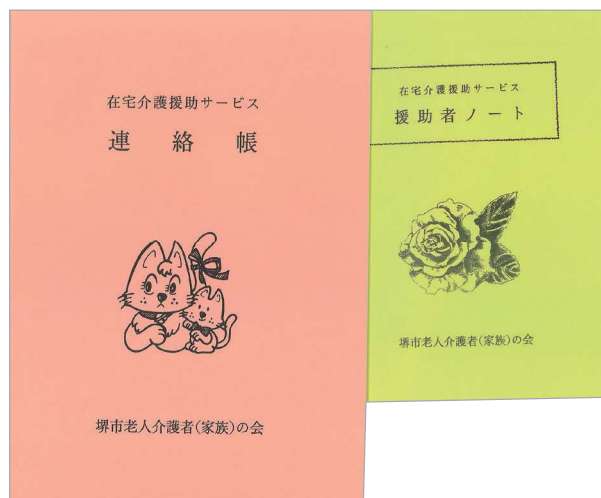
家族の会 会員登録等の推移（主な節目ごと）					
時期	正会員数	賛助会員数		介護援助者数	
		件数	人数		
平成元年度末	304	125	1516	4ブロック	0
平成2年度末	442	134	1576	4ブロック	41
平成5年度末	735	156	1625	4ブロック	79
平成7年4月	736	141	1455	6ブロック	105
平成9年度末	672	133	1554	6ブロック	98
平成11年度末	590	122	1327	6ブロック	104
平成12年度末	502	99	1139	6ブロック	75
平成18年度末	270	0	848	7ブロック	97
平成21年度末	254	0	514	7ブロック	84
平成30年度末	167	0	487	7ブロック	67
令和3年度末	140	0	415	7ブロック	68
令和4年8月	120	17	92	6ブロック	55

(注)・0表記はデータカウントができなかった年度です。平成5年～9年頃、会員・賛助会員・援助者がピークでした。

5. 34年間のあゆみ 歴代役員代表

- ① 平成元年度～平成9年度 会長 奥村 謙三(東ブロック)
- ② 平成10年度～平成20年度 会長 毛穴 正一(堺ブロック)
- ③ 平成21年度～令和4年度 会長 玉井 辰子(美原ブロック) 6月末退任
- ④ 令和4年度～ 会長 堺 貞夫(中ブロック) 7月1日就任

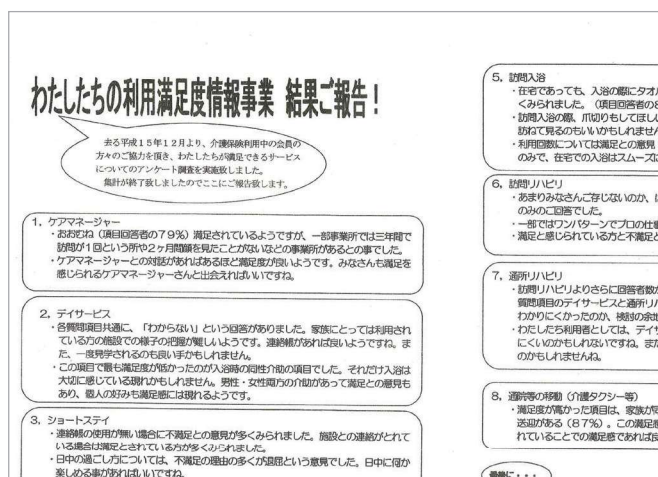
6. 足あとと思い出 その付箋から



設立初期に作成された「連絡帳」と「援助者ノート」。訪問看護師さんのアイデアで、枕元におかれたと聞きました。

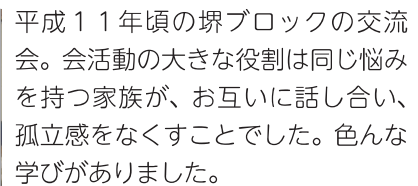
それからしばらく、保健師さんやヘルパーさん、介護援助者さんと、ご家族のネットワークアイテムとなったようです。(再掲)

介護保険が始まり、実施された「利用満足度情報」。サービスの質の確保のアイテムとして、介護者だよりに数回にわたり、連載されました。利用者の主体性が滲み出る取り組みでした。(再掲)



平成20年、20年の節目として編集発行された「20周年記念誌」と「介護手記集」。2代目の毛穴会長さんのもとで、発行されました。市長さん、市議会議員さんから、支援頂いた大学の先生、またサービス公社や地域包括支援センターからのメッセージ。そして7ブロックとなっていた当時のブロックリーダーからの介護手記。会長を中心として、歩みと思い出がギッシリ、詰まったものになっています。

介護用品の利用とともに、在宅での援助が必要で、援助者の方を中心に「体位交換や移動介助の方法の勉強会」が行われました。
(平成5年頃 施設職員を先生に！)



平成11年から12年頃。介護保険制度のスタートに伴い、堺市役所の準備担当課との意見交換が数回、行われました。また、介護認定とはどんなもの？会員さんの調査場面に、援助者が同席させて頂き、勉強・情報を大切にしました。

介護保険の相談とサービスが充実するにつけ、援助者の方の介護援助支援の負担は大きくへりました。しかし、介護者（家族）の方が交流し、お互いの心の支えになる、そんな役割がブロック単位の交流会でも顕著になりました。「レスパイト」、たまには介護のことを忘れて、心を癒す、そんな交流会が楽しみになっていきました。（写真は南ブロック交流会のお茶会やお花見の様子）



●●● サービスがあってこそ (1) ●●●

●平成2年12月 介護者だより第9号

平田さんの手記：82歳の義母を介護している。脳出血から寝たきりになった義母を前年9月、病院から引き取った。鼻注栄養が必要なほどの重症。病院から必要な技術を教わり、自宅で介護している。

病院も保健所看護師さんも親切で、何より子どもの反応の変化が変わったのが一番うれしいと。学校から帰ると、必ず挨拶をするようになったこと。

●●● サービスがあってこそ (2) ●●●

●平成3年6月 介護者だより第11号

奥仲さんの手記：社交的だった母が寝たきりとなり、天井をみて暮らす毎日。父はため息をつき、私も体調を壊し。

これではいけないと、デイサービスをお願いしました。母の喜びは勿論、私たちの肩の荷も降りた思い。「一人で看ている」という負担を除いてくれました。保育園のように、地域にデイケア施設、地域の方とも交流できる施設があれば……。切に願うところです。

●●● 痴ほうと呼ばれた時代に ●●● (助かった地域の理解)

●平成7年12月 介護者だより第16号 ●●痴ほうのお義母さんを看取って●●

痴ほうのお義母さんを看取られた京子さん。母Tさん76歳の時、脳内出血を起こし脳機能の1/3を失いました。その後、徘徊や妄想の症状がすすみましたが、79歳になる3年間、生きがいである仕事を、多くの方々の協力で続けることができました。職場の方々には昼食やトイレの世話を。近所の方には「痴ほう」であることを知ってもらい、事故に合わないよう見守ってもらいました。近くの商店の方にも、買い物に来たときは品物だけ持たせてもらい、後から京子さんが支払いにいくように。地域の方の理解が得られたのは、「痴ほうであっても、やりたいことはさせてやりたい」という気持ちの強さから。家族や地域の協力あってこそ、在宅で快適な生活ができる、そのことを学ぶことができるお話です。

●●● 心強かった交流会 ●●●

●平成10年11月
介護者だより第20号

中ブロックのKさんは、5人姉妹の4女。ご主人と息子さんの3人暮らしでした。両親の二人暮らしとお母さんのパーキンソン病を心配し、12年前、兵庫県から堺に呼び寄せることになりました。同居を始めて1年後、お父さんが急性肺炎で他界、お母さんも9年前から歩行ができなくなり寝たきり状態になりました。デイサービスを利用してみましたが、車に弱いこと、そして人づきあいがあまり得意でないことから、週一回の訪問看護に切り替えました。「無理させるより、家でゆっくり」、朝から晩まで付き切り介護が始まりました。Kさんは、3年ほど前広報を見たことがきっかけで家族の会に入会しました。「交流会に行ったら、立場も病状も違うけど、同じ経験してるから、ちゃんと分かってくれるし。」話すことで気分転換になったと言います。「近所の会員同志が集まって、今日お宅がお風呂入れるの手伝いわ」、「明日は私とこ手伝ってな。」そんな気軽な交流ができたならなあ」と思いを語ってくれました。

●●● 悔いが残る在宅介護 ●●●

●平成22年9月 介護者だより第113号
●●●悔いの残る母の介護●●●

中ブロックの堺さん：私の母が亡くなったのは介護保険が出来る丁度、半年前でした。それまで、今のうちに3カ月毎の退院もなく、ずーっと入院させてくれていました。見舞いに行くと「早く死にたい、お父さんに迎えにきてほしい」が口癖でした。ところが、制度が発足する準備として、病院から退院の要請がありました。とりあえず母と一緒に暮らすことになり、家族了解のもと同居が始まりました。気兼ねのない会話が交わされるようになるのと同時に、母の体調が崩れ始めました。薬、環境の変化と思いますが、段々トイレも行けなくなり、たちまち家族が倒れそうになりました。オムツをお願いしましたが受け入れず、家内と「これではもたない」とため息をつくばかりでした。そんな状態から20日あまり過ぎた夜中、急に寝息が荒くなり息を引き取りました。私たちの会話を聞いて、自分で暮引きをしたのかも知れません。「ほっと」した面と同時に、後悔が湧いてきました。

その後、大変な介護をされた経験をお伺いする度に、自責の念と自分の経験を他人様に生かしお手伝いできればと思う毎日です。

●中ブロック：堺 貞夫

私が援助者として正会員様とお会いしたのは、介護保険制度が実施されてからでした。最初に指導を受けたのは、「まず会員様のお話を聞いて下さい。胸の中をお聞きして、何を悩んでいるかを聞いてください」とのことでした。これは今も実施しており大切な事と思っております。縁ある方を大切に、会話を大切にしたいと考えています。

●西ブロック：田中

34年の歴史、300余名の会員さん！

介護者に携わる一員として、家族の幸せ、助け合う気持ち、お互いの苦労を分かちあう喜びを体験し、日常を明日に生かし介護することが、いつも有難いと思う気持ちが今日の幸せ。いつもニコニコ、答えは「ハイ」と心がけて過ごして行きたいと切望するも、今回、介護者（家族）の会の解散は、誠に残念です。

●東ブロック：長田 由紀子

会員になり援助者になり、30数年の月日が流れ、会員さんの所への訪問や介護者だより等、思い出せばキリがありません。大切な月日でした。

●南ブロック：奥田 澄江

34年間の内、24年在籍させて頂きました。30年の記念イベントが楽しい思い出となりました。

●北ブロック

堺市老人介護者（家族）の会には、大変お世話になりました。北区では介護者同士とした繋がったご縁を大切にして行きたいとの思いで、「小手毬（こてまり）会」と名称を変えて、介護相談や交流会等の活動をしてまいります。

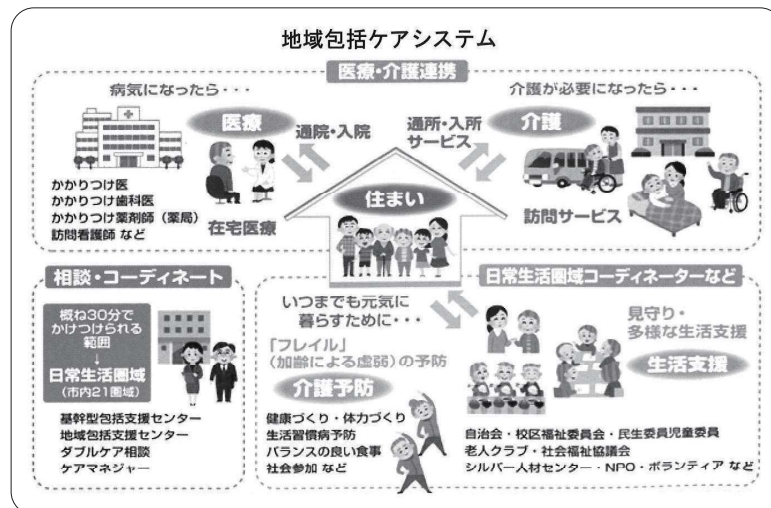
●堺ブロック

立ち上がった頃からの長い関わりで、援助とともに、現場の声をお知らせする役に立てたかなと思います。学ぶことが多かったボランティア活動でした。

7. これからも、介護を安心して過ごすために

高齢者が安心して暮らせる、介護が続けられるように、現在は地域包括システムづくりと、その仕組みが上手く手をつないで機能できるよう、日々勉強と実践、そして点検のための会議が、各区役所単位で進められています。「まずは相談」がとても大切なようです。

(堺市高齢者保健福祉ガイドブックから引用しています。)



高齢者と家族の、ちょっと困った時の窓口

区域	名称	電話	担当区域	区域	名称	電話	担当区域
堺区	堺基幹型包括支援センター	228-7052	堺区域	南区	南基幹型包括支援センター	290-1866	南区域
	堺第1地域包括支援センター	222-8082	三宝・錦西・市・英彰		南第1地域包括支援センター	295-1555	美木多（鶴谷含む）・赤坂台・新梅尾台・城山台
	堺第2地域包括支援センター	229-9240	錦・錦陵・浅香山・三箇丘		南第2地域包括支援センター	290-7030	福泉中央・桃山台・原山ひかり・庭代台・鶴池台
	堺第3地域包括支援センター	223-1500	熊野・少林寺・安井・榎		南第3地域包括支援センター	289-8085	上神谷・宮山台・竹城台・竹城台東・若松台・栗山台
	堺第4地域包括支援センター	275-8586	神石・新湊・大仙・大仙西		南第4地域包括支援センター	291-6681	三原台・はるみ・横塚台・泉北高倉
中区	中基幹型包括支援センター	270-8268	中区区域	北区	北基幹型包括支援センター	258-6886	北区区域
	中第1地域包括支援センター	276-0800	八田荘・八田荘西・深井・深井西		北第1地域包括支援センター	240-0120	東浅香山・新浅香山・五箇荘・五箇荘東
	中第2地域包括支援センター	234-6500	東百舌鳥・宮園・東深井・土師		北第2地域包括支援センター	252-0110	東三国丘・光竜寺・新金岡・新金岡東
	中第3地域包括支援センター	234-2006	久世・福田・深阪・東陶器・西陶器		北第3地域包括支援センター	257-1515	大泉・金岡・金岡南・北八下
東区	東基幹型包括支援センター	287-8730	東区域	美原区	北第4地域包括支援センター	276-3838	中百舌鳥・百舌鳥・西百舌鳥
	東第1地域包括支援センター	240-0018	南八下・八下西・白鷺・日置荘・日置荘西		美原基幹型包括支援センター	361-1950	美原区域
	東第2地域包括支援センター	237-0111	登美丘西・登美丘東・登美丘南・野田		美原第1地域包括支援センター	369-3070	美原区域
西区	西基幹型包括支援センター	275-0009	西区区域	各区の基幹型は、ダブルケア（子育て・介護）に関する相談ができます。子育てと介護の両方を担う方の相談窓口として、設置されています。			
	西第1地域包括支援センター	268-5056	浜寺・浜寺東・浜寺石津・浜寺昭和				
	西第2地域包括支援センター	271-0048	鳳・鳳南・福泉・福泉上・福泉東				
	西第3地域包括支援センター	260-5022	津久野・向丘・平岡・家原寺・上野芝				

堺市老人介護者(家族)の会 34年間のあゆみ …… 足あとと思い出 ……

発 行 日 令和5年2月

発 行 堺市老人介護者(家族)の会

発行責任者 会長 堺 貞夫

編集事務局 社会福祉法人堺市社会福祉協議会 地域福祉課
〒590-0078 堺市堺区南瓦町2番1号

堺市総合福祉会館内

電話 072-232-5420(代)